

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年3月29日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690200185
法人名	社会福祉法人 白寿会
事業所名	グループホーム 和
所在地	鹿児島県薩摩川内市中福良町2911番地1 (電話) 0996-22-0753
自己評価作成日	平成28年2月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年3月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症であっても、ほんの少しお手伝いがあれば人としての尊厳を保ちながら、その人らしく生活ができる。そのことを職員が理解しており、職員主導により一日を過ごしていただくのではなく、利用者自らの自己決定が十分に発揮できるように努めています。また、家族や身近な人が気軽に訪ねて来れるような環境づくりに努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業者は、特別養護老人ホームやデイサービスセンター・在宅介護支援センターが併設されており、緊急時の協力体制が整っている。
- ・自治会に加入し地域情報を得ている。総会に出席したり、清掃活動・「芋煮会」があり参加している。散歩や買い物などで挨拶したり花などを貰ったりして、日常的に交流している。管理者は地域サロンで講演や相談を受ける等、地域に貢献している。
- ・利用者のありのままを受け入れ、利用者主体の生活をサポートし、輝いている時間を大切にしている。
- ・年2回消防署の立会いのもと昼夜間想定避難訓練を実施している。緊急通報装置や器具の定期点検をしている。災害時の水やインスタント食品・缶詰など、特別養護老人ホームと合同で確保している。
- ・食事時はランチョンマットを敷き美味しく食事ができるよう工夫している。
- ・職員は常に向上心を持って自己研鑽し、お互いの意見を否定することなく話し合い、利用者の生活に反映させている。

グループホーム和 東ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>理念は事業所の原点であり、自分達の支援に迷いや困難が生じた時のよりどころとしています。</p>	<p>理念はフロアに掲示し、職員全員が周知、理解しており絆を原点に、あるがままを受け入れ、焦らず、寄り添いながら実践につなげている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>日常的交流といえるまでには至っていません。課題の1つとして十分認識しております。</p>	<p>自治会に加入し地域情報を得ている。総会に出席したり、清掃活動・「芋煮会」があり参加している。散歩や買い物などで挨拶したり花などを貰ったりして、日常的に交流している。管理者は地域サロンで講演や相談を受ける等、地域に貢献している。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>地域の方へ、認知症の理解を深めていただけるよう、またどの様な接し方が望ましいか等の講演を行ったことがあります。</p>	/	/

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>事業所の報告に終始する傾向があり、委員の方の意見等をうまく引き出せていないのではと感じています。</p>	<p>会議は定期的開催され、利用者の状況や事業所の現状報告・外部評価結果報告・マイナンバー制度について等、報告して、日常的な地域との関わり方等についての意見をもとに話し合いサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>日頃から連携を密にするのは難しい部分がありますが、部署ごとに相談できる人を作っています。</p>	<p>市担当者とは日頃から電話や書類提出時に相談したり、成年後見制度についてアドバイスをもらっている。市主催の地域ケア会議や研修会・徘徊模擬訓練に参加している。運営推進会議などで、機会あるごとに相談や情報交換をして協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>事業所として身体拘束はおこなわないことを宣言しています。物理的な拘束を含め、言葉等で行動を制限する事が無いように全員で気を付けています。徘徊対策を理由に施錠をおこなうことはありません。</p>	<p>法人で3ヶ月に1回、身体拘束廃止委員会の会議が有り、事例を用いて勉強会をしている。事業所でも勉強会で「身体拘束はしない」を職員全員が心がけている。日中の玄関の施錠はせずに、言葉かけや利用者へ寄り添いながら、見守りをして、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉にも十分注意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会/研修の機会を作っており、あってはならないこと、してはいけないこととして十分認識しています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>今後、成年後見制度を活用される利用者も増えると思われ研修等に参加する機会を設けています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時は、事例や想定されることを踏まえて分かりやすい説明に努め、不安や疑問を解消していただけるように努めています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見をいただけるようになって初めて関わる人が皆で作るグループホームになると考えています。利用者、家族に対しては意見・要望がいただけるよう積極的に話をさせていただいています。</p>	<p>利用者からは日常の生活の中で、くつろいでいるときや気分がいい時などを見計らって思いを聞いている。家族からは3ヶ月毎に「ほーむ便り」を郵送したり、利用者の状況を家族に報告し面会時等に声かけして希望など聞くようにして、運営に反映している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>利用者の代弁者でもある職員から意見や提案が積極的に出ないようでは運営上心配するところです。出された意見は十分吟味しています。</p>	<p>管理者は職員とのコミュニケーションを図っており、職員も普段から意見や相談をしている。年2回自己評価をして、個人面談で意見を聞いている。常に利用者の立場で、意見や考えを出し合いケアについて話し合いを行い運営に活かしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>人事考課を導入しており、職員の努力や実績を反映できるようにしています。また、有休を時間単位で取れるよう働く環境づくりも意識しています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外で研修・勉強会の機会は多く、資格取得も推奨していますが、まだ本人任せの部分も多く、今後は専門性を高めるため、個々に合ったスキルアップ研修を事業所主体で取り組みたいと考えています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他の事業所と利用者を交えた交流がありますが、職員レベルでの交流に至っていません。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>まずはじっくりとお話をお聴きすることから始めています。その情報は職員と共有していません。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>利用者同様、じっくりとお話をお聴きすることから始めています。直ぐに対応できないことでは保留にすることもあります。が、聴き放しにせず対応するよう心掛けています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人と家族が不安なく過ごしていくには、「その時」必要な支援だけでなく、今後の生活を見据えトータルで考えないといけない、他のサービスの利用も検討し、本人の変化等に応じて適切なサービスが実施できるよう努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員は、本人の自己決定する力を引き出す関わりを意識しており、職員主導で物事を決めることがないようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご利用者が安定した生活を送っていただくためにご家族との関わりはとても重要であると認識しており、良好な関係が築けるよう努めています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの美容室の利用を続けていただいたり、ご近所周り、墓参り等の支援をおこなっています。</p>	<p>今まで利用者が作ってきた人間関係が途切れないように支援している。近隣の散歩で馴染みの人と挨拶や世間話しをして楽しんでいる。デイサービスセンターの仲間ともお互いに交流している。家族の協力で馴染みの店や美容室・墓参り・外食・お正月の外泊等をしている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士が関係を築くことが難しい場合が多いので職員が繋ぎの役割で支援しています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>ご縁のあった方々ですので大切にしていきたい気持ちでおります。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ストレスを少なく暮らしていただくことは認知症の周辺症状の緩和にもなるので職員は日常の会話の中でそれらの把握に努め、得た情報は他の職員へ周知するよう努めています。	利用者の今までの生活歴を把握して、時系列で気づいたことをメモに残し、個人記録に転記して、思いや意向の把握をしている。意思疎通が困難な場合は家族からの情報や利用者に寄り添い、表情や言動から本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴等は重要な要素ですので本人や家族に協力いただき情報を収集し、支援方法のヒントにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	体調変化や言動の変化、生活状況を記録し職員で共有しています。気になる変化は都度ミーティングをおこない検討いたしております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成においては、本人、家族等の意向が反映されるよう十分検討して作成しています。	本人や家族の思いを聞き、主治医や職員の意見、個人記録や全ての記録からアセスメントを行い介護計画を作成している。3ヶ月に1回のモニタリング、6ヶ月に1回の見直しを行っている。状況の変化があればその都度話し合っって介護計画の見直しを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>本来、日々のケアや計画の見直しに記録は重要であるが、職員全体の記録スキルアップが必要と考えている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>臨機応変な対応ができることは、事業所の魅力にもつながるので取り組む考えですが、正直どこまで可能であるか分からない部分であります。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>利用者全員ではありませんが、それができているケースもあり今後そのような利用者が増えるよう関わりたいと考えています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>9名の利用者またその家族がこれまでかかりつけ医と築いて来られた信頼関係を大切に考えています。事業所とかかりつけ医も良好な関係を築いており、体調急変等においては迅速に協力いただいています。</p>	<p>利用者や家族が今までのかかりつけ医の継続希望があればその通りにしている。専門医への受診は家族に協力をもらい行けないところは職員で行っている。月2回訪問診療が有り、協力医療機関の24時間体制で、適切な医療を受けられるよう支援している</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、口吊の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>現在までに看護職員との協働はほとんどありませんが、今後は必要になってくると考えています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>そのように努めており、関係づくりも行なっております。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約の前段階でターミナルケアをおこなわない方針を説明し納得いただいて契約をしていますが、今後は重度化や終末期における事業所の対応力が問われるようになると考えています。早い段階で方針を明確化したいという現状です。</p>	<p>入所時、事業所はターミナルケアをしない方針を説明している。医療的な状況になる前に家族に説明し主治医の指示のもと限界までケアするように努めている。ターミナルケアについて準備を進めている。各ユニットに看護師・准看護師が介護職員として働いているので、今後、看取りの必要性があれば、ケースバイケースで対応していく計画である。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>新規採用の職員も増えており、対応力にばらつきが生じていると考えますので勉強会・訓練、マニュアルの整備を考えています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>ご利用者のADL及び認知度等を考慮した避難訓練の実施。事業所加入の自治会へは協力をいただけるようお願いをし、了解を得ています。</p>	<p>年2回消防署の立会いのもと昼夜間想定避難訓練を実施している。消防署に年1回指導を受けている。隣接する法人施設や地域住民との協力体制もできている。緊急通報装置や器具の定期点検をしている。災害時の水やインスタント食品・缶詰など、特別養護老人ホームと合同で確保している。地域の単身高齢者の受け入れを検討している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>言葉かけは対人関係を築く上でとても大切です。言葉かけにより多くの情報を得たり、引き出したりできます。その言葉が人格や誇りを損ねていたら本末転倒ですので言葉遣い、ニュアンス、タイミングを大切にできるよう指導しています。</p>	<p>利用者の個々の尊厳を大切に日常生活のトイレ誘導、入浴などプライバシーが守れるように配慮している。研修会や会議を通じて学習している。気になる言葉遣いはその都度指導している。誘導の声かけも周りに気づかれないようにしたり、必ずドアは閉めるように細かい配慮をしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>思いや希望を表出していただくには職員との信頼関係を築くことが大切であると考えます。基本的に自己決定していただけるよう配慮しています。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>安全面等を考慮した場合、職員主導になる部分はありますが、ご利用者主体である事は全職員理解しており、概ね希望に沿えていると思います。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>身だしなみ、おしゃれに関心がなくなりつつある利用者であっても尊厳を保てるように支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>餃子、焼きそば、ホットケーキ等を役割を決めて作ったり、個々の誕生会には好きな食べ物を提供したりしています。ただ、認知度やADLの低下から一緒に取り組むことが難しくなりつつあります。</p>	<p>法人の管理栄養士に助言を得ながら嗜好に配慮した献立を作成している。利用者と一緒に買い物や下ごしらえ・調理のアドバイス・後片付けなど行っている。食べる時はテーブルにランチョンマットを敷いたり、誕生日には好きなものを提供し、楽しみなものになるよう工夫している。1週間に1回、お好み焼きなど作ったり、3ヶ月に1回外食をしている。担当委員会もあり、美味しく食事ができるよう話し合っている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事や水分補給においては、ご本人の状態に合わせた対応をいたしており、栄養バランスに関しては法人の管理栄養士が立案したメニューを参考にしております。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>個別の状態把握がしっかり出来ていない面もあるので今後の課題と考えています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	なるべくトイレでの排泄を心掛けています。残存機能が活かされるように全てを行うのではなく個々の特徴を見極めながら支援しています。	時間帯を把握してトイレ誘導している。リハビリパンツとパットで併用、夜のみポータブルトイレ使用者がいる。トイレ排泄が習慣化することで、失禁や放尿も見られず、パットのみを使用となる等、自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体調不良、不穏行動が生じた時に直ぐに便秘を疑う程、排便については気を配っています。体操や食べ物の工夫をおこない、最終的には薬の力も借りることになりますが概ね、排泄コントロールができていると考えています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	希望に沿えないこともありませんが、しっかり理由を告げご理解いただけるように努めています。	入浴は基本的に週3回で午後となっているが、個々の希望に応じて入浴支援をしている。温泉や足湯で気分転換を図っている。入浴を拒否する利用者には、タイミングを見て気分がよいときに声かけして入浴している。入浴委員会があり、入浴を楽しめる工夫や改善点を検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>眠たくないのに無理に寝ていただく必要はないのではと考えています。心が穏かになられるよう会話したりお飲物をお出ししたり工夫をしております。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>ご利用者個別の薬の把握は概ね出来ていると考えております。処方変更等生じた場合は主治医と連携し症状の変化等の把握に努めています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>本来、何の制限を受ける事もなく出来て当たり前のことですので、なるべく希望に沿いたいと思っております。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>日常的な部分は基本的に自由にしていただく考えであり、制限したくない部分であります。ご家族や友人の方の協力もあります。事業所の買い出し等へもお誘いして気分転換を図っております。</p>	<p>日常的にはいつでも敷地内の散歩や散歩を兼ねて買い物に出かけたりしている。月1回のミニドライブや年間行事で季節の花見に行ったり、地域で行なわれる運動会等を見物したり、家族の協力を得て外食や外出・外泊など、自由に出かけられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を持つこと、遣うことは社会性を保つことでもあり、お金の取り扱いが出来る方については少額でも持たせていただけるよう家族にお願いしています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望があれば電話や手紙の代筆等をいたしております。ご家族からのお電話等はおつなぎしています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>日中において日の光に眩しさを訴えられるご利用者もおられ、カーテンをしたり対応をしています。無機質でなく季節感や楽しむ工夫等もしています。</p>	<p>共用空間は木造建築で温かい雰囲気である。天井が高く採光がふんだんに入り明るく、換気に配慮されている。畳の空間もある。ホールからウッドデッキに出られるようになっており、お茶飲みをしたり外気浴をしながらのんびり過ごすことができる。壁には利用者の作品や季節の花が飾られ、掲示板には今日の献立が大きく書いてキッチンの横にかけてあり、廊下も広く、居心地良く暮らせるように工夫されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>館内を自由に使っていただいております。お互いに居室を訪問したり、小グループで集われたりという事もあります。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>慣れ親しんできた環境を出来るだけ再現していただけるようお願いしています。また、不都合や気分転換のため模様替え等をご本人の意思に基づき実施しています。</p>	<p>居室はエアコンが設置されている。ベッドや寝具類・じゅうたん・タンス・テレビ・椅子・時計・家族写真・小物など、使い慣れたもの、思い出のものが持ち込まれ、その人らしい居室となっている。本人や家族で話し合いながら模様替えも楽しんでいる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手すり等を設ける等、できる事を活かした環境づくりをしておりますが、多少の不便はあって当たり前と考えております。</p>		

グループホーム和 東ユニット

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない